

原発問題について 乳幼児医療費の無料化について 非核平和都市宣言について



清水 澄夫

問 事故隠ぺい、不正検査、データ改ざんなどの不祥事をどの様に考えるか、定期検査中に制御棒が抜け落ちる事故が相次ぎ臨界事故に至った事例があった。運転停止中の原発でも運転時と同程度の危険性があることを改めて示した。又、安全協定も中部電力のみ「事前了解」事項が入っていない。中電は要請があればそう入るもやぶさかではないと言っている。市長は4市安全対策協議会の会長として見直しを求める考えは

答 信頼関係を覆すような行為が過去にあった事は誠に遺憾、安全協定の見直しをするものでもないし、「事前了解」事項も盛り込む必要性はないと考えています。



問 吉田町の町長は中学卒業までの医療費無料化を公約した。市長は子供は宝だとよく強調するが、その言葉にふさわしく制度をより以上に充実すべきでは

答 過剰診療を防ぐため医療費の無料化は考えていません。対象年令の引き上げは県下の動向を注視してまいります。

問 非核平和都市宣言について市長は平和を愛する心と核廃絶を願う心があれば、非核平和都市宣言をしなくても核廃絶を訴えていくことは出来ると述べたが、菊川・掛川両市でも宣言を採択している。宣言をすることによって市民に意識づけることになる。御前崎でも宣言をすべきでは

答 原子力の平和利用と核廃絶は全くかけ離れたものであり、核廃絶は私を含め日本国民すべてが願うものだと思っております。核廃絶を願う心さえあれば非核平和都市宣言をしなくても、核廃絶を訴えていくことは出来ます。今後その考えは変わることはありません。

御前崎市の教育施策について



増田 雅伸

問 教育再生会議第2次報告の①必要に応じた土曜日授業実施などで授業時間数10%増②小中学校の道徳教育を「新たな教科」への格上げの対応と取り組みについて教育長の考えは

答 現段階においては、現行の学習指導要綱を遵守しそれに則った教育課程編成に従って粛々と教育活動を進めています。土曜授業は基礎学力の向上のためだと思っております。校長会など呼びかけ、基礎学力向上に取り組んでいます。今後の研究課題だと思います。

問 市教育委員会が掲げる重点施策で「家庭教育力向上のための事業の推進」の内容は

答 「マナーモデル運動」を展開したいと考えています。この運動によって

全市民のマナー向上を目指し住みよいまちづくりを参画し創造するきっかけとなることを期待しています。具体的には、小学生以上大人までの市民を対象にマナーモデルを公募しマナーを自己申告し、認定した証としてピンバッジやステッカーを目立つ場所につけてもらいマナーモデルとして自己のマナー向上や啓発活動に努めてもらいます。この運動期間は、2年間の限定として展開していきたいと考えています。2年後にはマナーモデルサミットのようなイベントが会員相互の力で開催されれば全国に類を見ない特色のある取り組みとなります。今後は、市民への浸透を図っていききたいと考えています。

問 芸術文化の継承や地域特性を生かした取り組みについての考えは

答 芸術文化の継承は平成17年度から取り組んでいる文化財講座があります。また、平成20年度完成予定で御前崎の歴史の副読本を作成して御前崎市を知ってもらうと考えています。

また、昨年度末に立ち上げましたマリンスポーツクラブも御前崎の特色を生かした海洋スポーツを実施することで体験教室を開催し、会員募集等積極的に取り組んでいます。今後は、市の校長会に呼びかけもつと御前崎の自然を活かした教育を積極的に呼びかけていきます。

問 芸術文化の継承や地

